

## 冬を超えて

中川とら

一、  
わたし達は

ハビタブルゾーンの惑星に生きている

太陽系で唯一 地球だけが

数えきれない生命の呼吸音を

かなでているのよ

なんて幸運な星でしょう

金星でもなく 火星でもない

地球の自転軸がぶれないのは

夜空に輝く月のおかげのよう

そう思うと

満月も半月も三日月も合掌したくなるほど

尊く美しい

二、  
今、地球は

紛争も戦争も日常のもの

災害は、止むことなく地上に噴き出し

社会は矛盾に満ちている

春が荒れて、夏が沸騰して

秋の実りは、影を落とし始めている

冬はおそらく極寒であるかも

三、  
あなたの病が

快復に向かっていることを知って

本当にうれしい

晴れた日は、少しでも外に出て

太陽の光を浴びてください

好きな事をし、生きている今を

楽しんでいかれますように

四、 今年も そろそろ終わりです

日に日に寒さが厳しくなつて

北風が老いた体に一段とこたえます

血圧が上がり、腰も膝も痛みます

でも、わたしは負けません

せつかく、この星に生を受けたのだから

強く生きる

うまく生きる

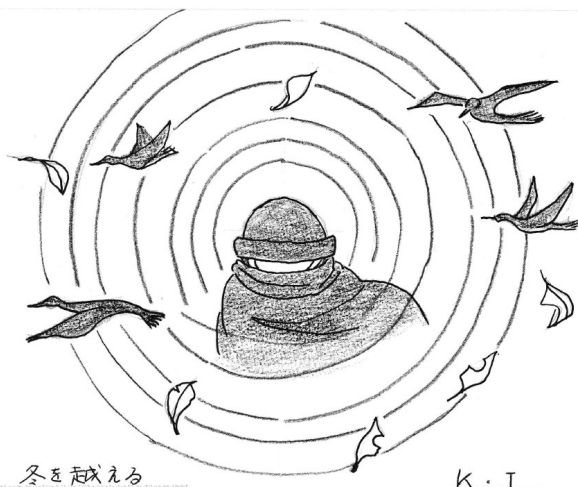
仲良く感謝して生きる

試練を乗り越えて

最後は

「ああ、いい人生だった」と思つて終わります

幸運な星に生まれたのだから



冬を越える

K・I